

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月28日		記入者		内線	754-3604
部名	生涯学習部	課名	図書館		課長名	小林清志
事務事業名	施設維持補修事業					
予算上の事務事業名	施設維持補修経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15130		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					事業開始年度
施策名	第3施策 生涯学習関連施設の整備					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
図書館法 相模原市立図書館条例、同施行規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名			図書館と相武台分館は昭和49年と54年の開館で、ともに老朽化が進んでいるため、安全で安心して利用できる施設整備を行う。			
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分 ▼						
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
老朽化が進み、施設や物品の補修・修繕が多岐にわたって必要となっている中、緊急性・重要性を考慮しつつ、できるだけ迅速に対応し、図書館利用者が安全で、気持ちよく利用できる施設として整備を進める。				図書館利用者 84万人		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
図書館＝トイレ排水管詰まり修繕、ボイラー用油圧計・冷却塔修繕、読書室パーテーション設置など(18件) 相武台分館＝雨漏り、外柵門扉、駐輪場、トイレ修繕(4件) 合計22件の修繕・補修を行った。						
今後の改修計画のための図書館改修事業調査設計委託を実施した。						
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	4,882	3,117	4,884	21,195	25,000	
一般財源	4,882	3,117	4,884	21,195	25,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	178	171	328	328	328	
事業コスト合計(a)	5,060	3,288	5,212	21,523	25,328	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	施設維持補修事業			対象名称(単位)	維持補修等実施件数	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	4,882	3,117	4,884	21,195	25,000	
対象数	42	26	23	26	26	
単位あたり経費(円)	116,238	119,885	212,348	815,192	961,538	
前年度比		1.03	1.77	3.84	1.18	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	予算執行率		指標式と指標の説明	決算額÷予算額		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	98.4	97.9	97.7			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	0.98	0.98	0.98			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	施設補修・修繕対応処理率		指標式と指標の説明	補修・修繕対応処理件数÷補修・修繕要望件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	100.0	89.7	75.9			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	100.0	89.7	75.9			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	〔 〕：良好な状態を維持する事業					
	〔 〕：概ね良好な状況である事業					
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業					
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		ますます老朽化が進む中、図書館機能の見直しを含めて、長期的な計画づくりを行い、着実に改修を進めることが重要になっている。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
財源不足の中で、安全性や利用者の立場にたつて修繕等の優先順位を決め、更に効率的な執行を図る必要がある。			築後約30年が経過した両館の修繕・補修の必要箇所は今後ますます増加する一方であり、長期的な計画を的確に立てる必要がある。図書館については、16年度に実施した改修事業調査設計委託の結果に基づき早急に計画を立てる。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		計画的な維持補修に努める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				